

知って防ごう「エキノコックス症」

文=上西 由加子(保健師)



エ キノコックス症とは、寄生虫が主に肝臓に寄生して起こる病気です。特に北海道に多く見られる感染症で、毎年10数名の患者が見つかっています。

感染してから自覚症状が出るまでに数年から十数年かかり、気づかないうちに悪化してしまふことが多い病気です。エキノコックス症の正しい知識を持ち、予防法を身につけましょう。

どのように人に感染するの？

エキノコックスの卵が口に入ることで感染します。エキノコックスが寄生したキツネ（犬や猫）の糞を触ったり、キツネの糞で汚されている可能性がある野菜、山菜、沢水を口にすると感染の危険があります。

エキノコックス症の症状は？

エキノコックス症は主に肝臓の病気です。進行するにつれて、肝機能障害に伴う疲れやすさ、上腹部や肝臓のあたりの不快感、黄疸などの症状が出ます。放っておくと肝機能障害がすすみ、命にかかわる場合もあります。

予防と早期発見のポイント

外出後は必ず手を洗う。

エキノコックス症検診を受けるには

町では、冬季総合健診にあわせてエキノコックス症検診を実施しています。検診は早期発見・早期治療に最も役立ちます。ぜひ、ご家族そろって受診しましょう。

日程 平成23年1月22日(土)・23日(日)

会場 すこやか健康センター

対象者 小学3年生以上

(5年以上検査を受けていない方)

検査方法 採血による血清検査

検査料金 無料

申込方法など詳しくは、別配布のチラシ「冬季総合健診のお知らせ」をご覧ください。また、すこやか健康センターまでお問い合わせください。



山菜などを口にすることは、よく洗い、十分に加熱してから食べる。

生ごみなどキツネのえさになるものはきちんと保管する。

キツネを餌付けしたり、手で触れることはやめる。

沢水やわき水などの生水は飲まない。

犬が感染しないように飼育の方に注意する。(放し飼いはしない・散歩のときはリードを使う・犬に触れた際は必ず手を洗う)

定期的なエキノコックス症検診を受ける。(右枠参照)

エキノコックス症の主な感染源であるキツネも最近では市街地で見かけることが多くなりました。日々の生活に注意しながらエキノコックス症を予防していくことが大切です。